



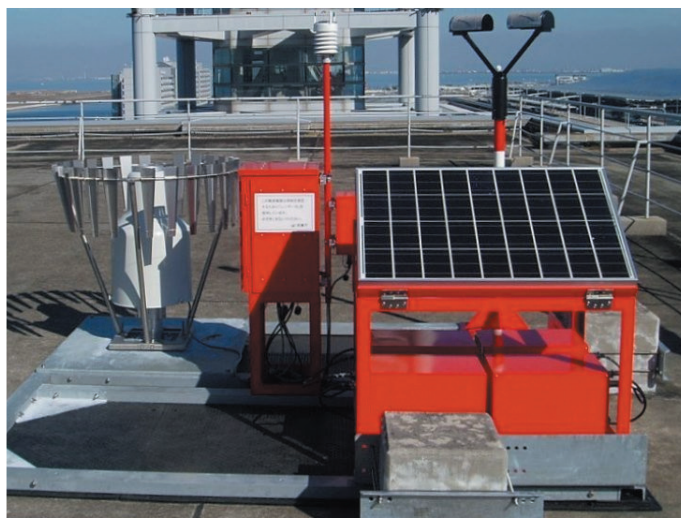
気象庁発表 全国1か月予報

- 北日本では、天気は数日の周期で変わると見られます。
  - 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いと見られます。
  - 東日本太平洋側、西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないと見られます。
  - 沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が多いと見られます。
- 今月も健康に気を付けてお過ごしください。

## 気象庁 降水粒子精密観測装置の納入

**気** 象庁は平成28年3月より、東京国際空港と関西国際空港で次世代型となる固体素子二重偏波ドップラーレーダー（以下、単に二重偏波レーダー）の運用を開始しました。従来の気象レーダーが水平方向に振動する電波により観測することに対し、二重偏波レーダーは水平に加え垂直方向に振動する電波も同時に発射・受信することで、降水の強度だけでなく、降水粒子の形状や分布の一様性などを観測できる性能を有しています。

降水粒子精密観測装置は、二重偏波レーダーの観測精度の検証に用いる参照データの取得を目的に、上記2空港の二重偏波レーダーの観測範囲内にそれぞれ5か所（計10か所）設置されました。この装置は、重量式雨量計やパーシベル（レーザー式現在天気計）等で構成されており、雨量、降水強度、雨粒の粒径分布、落下速度などのデータを取得できます。



今後、さまざまな気象条件の下、二重偏波レーダーとの同時観測を行い、レーダーの精度検証・改善に役立つデータの取得が期待されています。

## 広島市安佐南区緑井の八敷福祉会館へ ソーラートランスミッタ雨量計を納入

**2** 014年8月の豪雨により大きな被害が発生した広島市安佐南区緑井地区に、雨量ソーラートランスミッタを納入致しました。この地区では局地的な短時間大雨により、大規模な土砂災害をもたらし、人的被害、住宅の損壊・浸水被害を受けました。こういった背景から、地元地域の八敷福祉会にて、独自に雨量計を設置が検討されましたが、周辺は住宅街であり、八敷福祉会の会館も総2階建の建物となっていた為、保守面を考えると会館屋上への設置も出来ない状況でした。

この度納入させて頂いたソーラートランスミッタは、太陽電池を利用した特定小電力無線方式による通信が可能である為、電源が無い場所等でも自由に設置が可能となっております。

今回は地元の公園内に、このソーラートランスミッタを利用した雨量計を設置し、特定小電力無線にて八敷福祉会館へ伝送、PCでのデータ処理を行う方式を採用・納入させて頂きました。

将来は、この雨量データを地域住民へインターネット公開していくと共に、メールでの配信が検討されており、今後の防災活動や自主避難に利用される予定となっております。

